



2022年3月期 決算説明資料

サイバートラスト株式会社
東証グロース:4498
2022年4月27日

Agenda

1. 2022年3月期 通期業績概要
2. 3カ年で目指す姿
3. 成長戦略(FY22～FY24)
4. 2023年3月期 通期業績予想
5. APPENDIX

2022年3月期 通期業績概要

2022年3月期 連結業績(12か月累計)

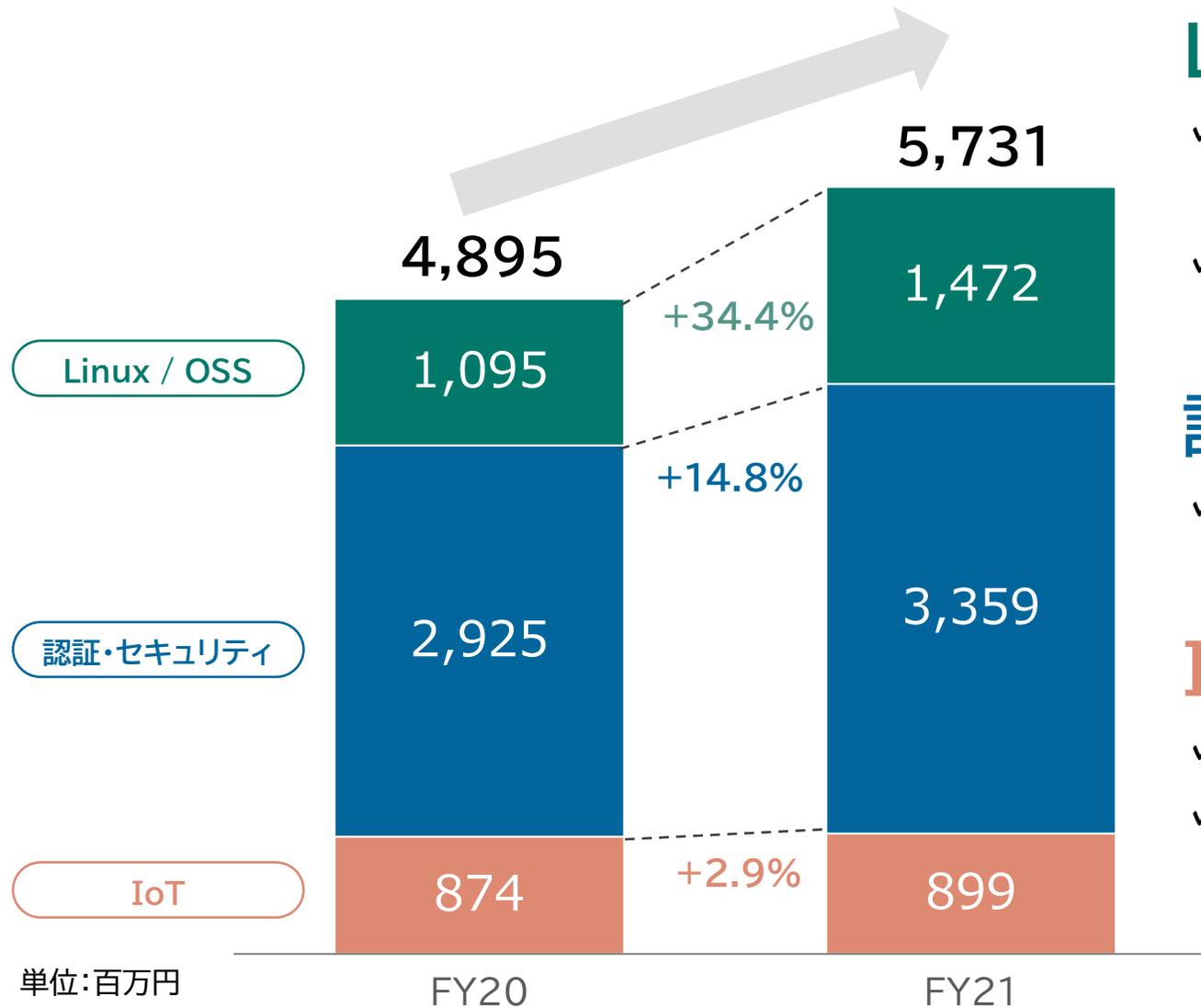
全ての指標において上方修正値を大きく上回る結果

- ・ 認証・セキュリティとLinux/OSSは全てのプロダクトで想定を上回る需要
- ・ IoTサービスでは半導体供給不足の影響は残るものの新規顧客の獲得

(単位:百万円)	FY20	FY21	増減額	増減率	業績予想 (‘22/1/25修正)	業績予想比 増減率
売上高	4,895	5,731	+836	+17.1%	5,550	+3.3%
営業利益	574	868	+294	+51.3%	700	+24.1%
経常利益	715	872	+156	+21.9%	700	+24.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	408	530	+121	+29.7%	463	+14.5%
EBITDA	949	1,384	+435	+45.8%	—	—

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 資産除去債務関連費用

サービス別売上高(12か月累計)



Linux/OSS

- ✓ CentOS延長サポートの駆込み需要でLinuxサポートが伸長
- ✓ 新規大型案件の獲得でMIRACLE ZBX伸長

認証・セキュリティ

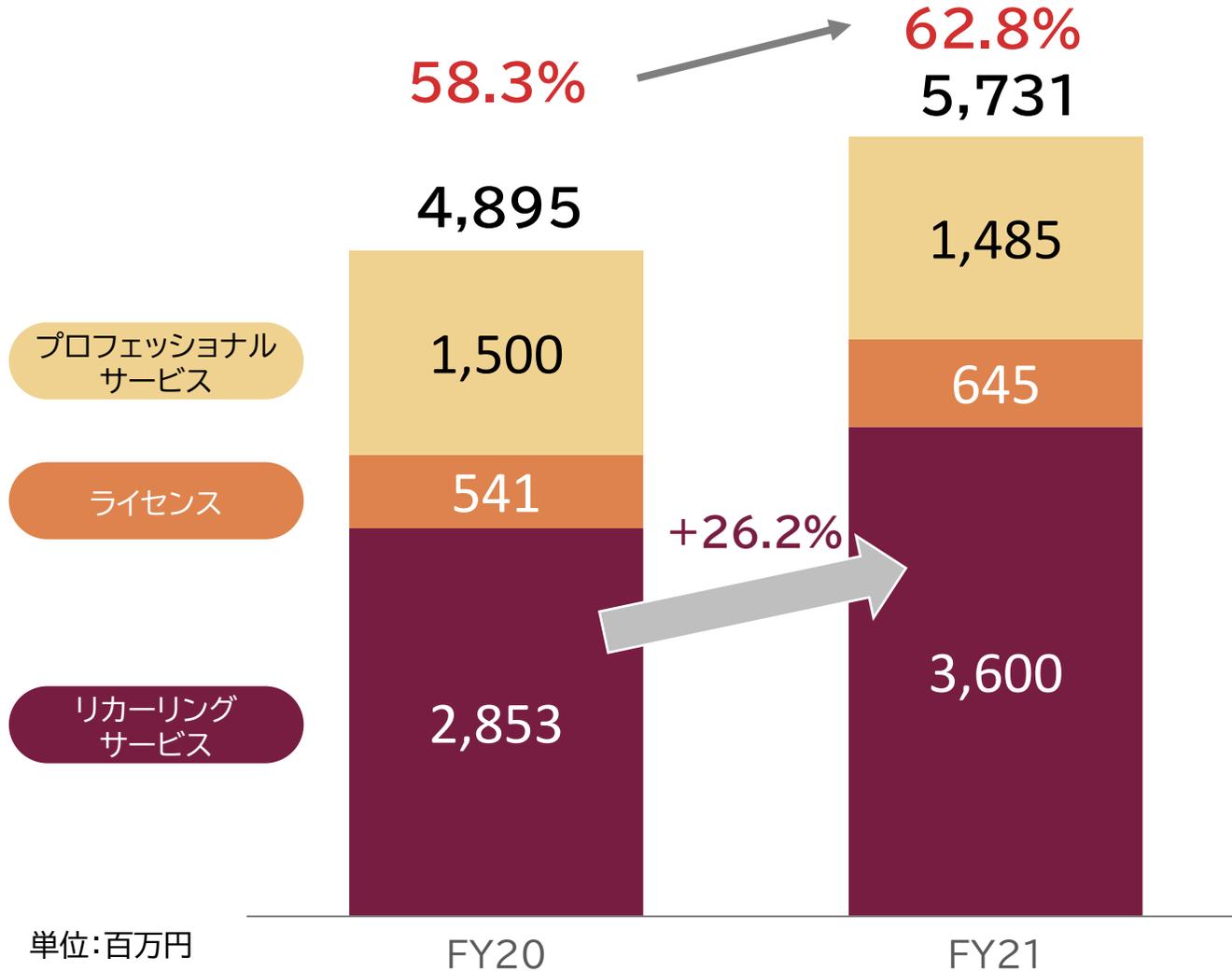
- ✓ DX推進で端末認証・本人確認・電子署名伸長

IoT

- ✓ リカーリングに繋がるEMLinux受注
- ✓ SIOTPビジネスの布石となる国際安全基準適合に対するセキュリティコンサル伸長

取引形態別売上高(12か月累計)

全事業リカーリング比率



単位:百万円

FY20

FY21

リカーリング売上高 前年同期比26.2%増

■ リカーリング型ビジネスモデルの進行加速

認証・セキュリティ

デバイスID +22%
iTrust +124%

Linux/OSS

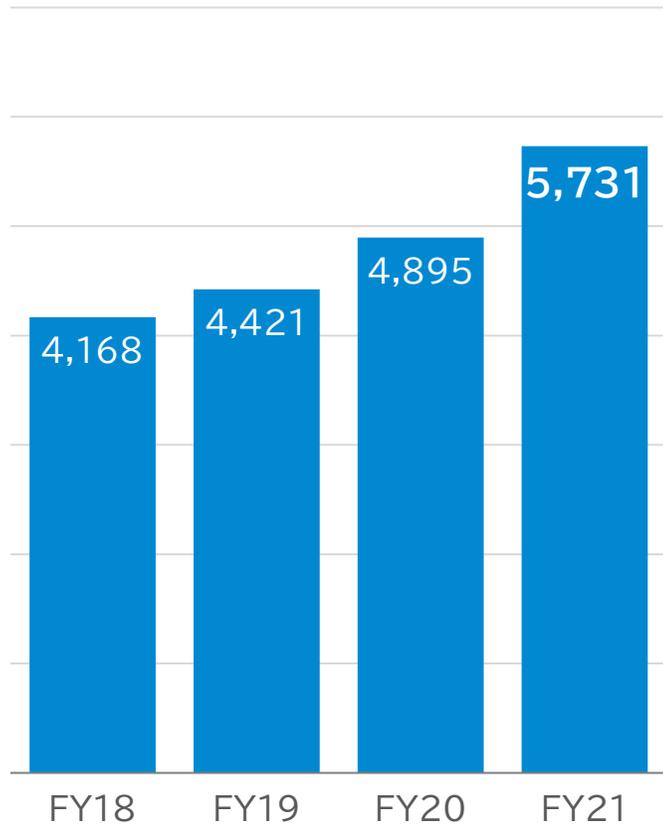
Linuxサポート +92%
ZBXサポート +27% (前年同期比)

■ プロフェッショナルサービスからリカーリングへ

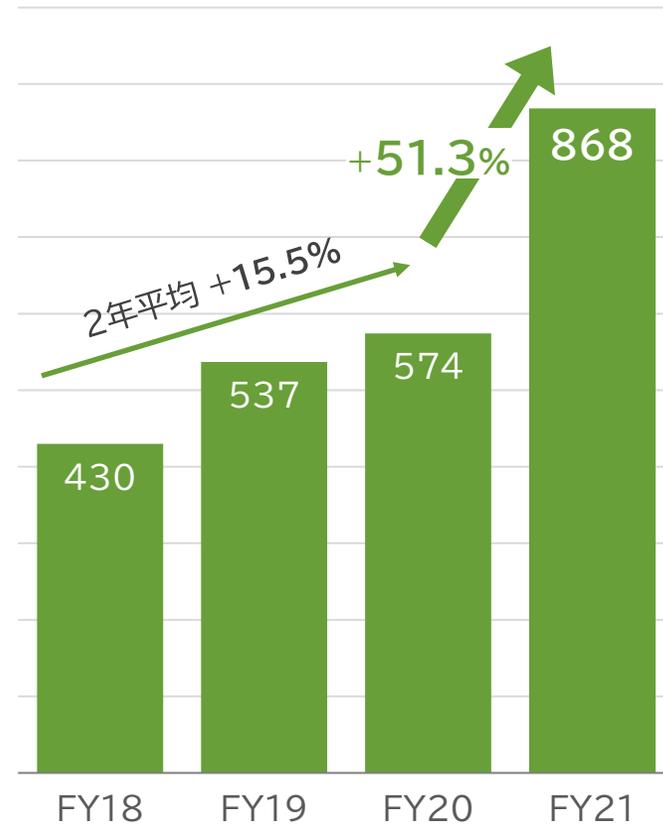
IoT: 国際安全基準適合に関するセキュリティコンサルティングにより今期以降のリカーリングビジネスへの転換の事業機会創出

連結業績推移

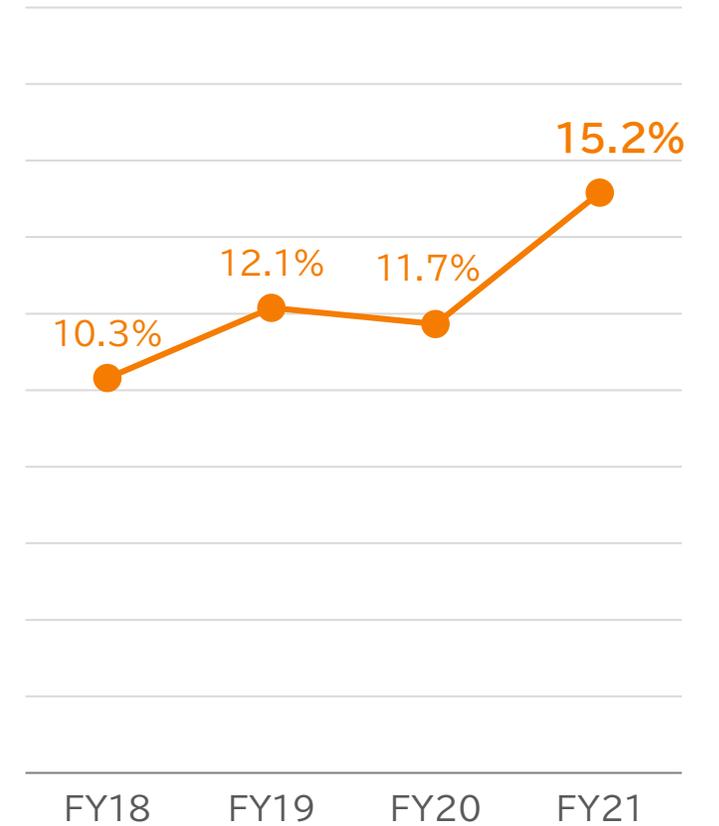
売上高 単位:百万円



営業利益 単位:百万円



営業利益率



リカーリング売上の累積によりFY21は利益体質が飛躍的に向上

上場初年度を終えて

コロナ禍での営業政策

- ✓パートナービジネスへのフォーカスにより多様なお客様にリーチ
- ✓デジタルマーケティングによる営業活動の見える化を深化

外的要因による不確実さ

- ✓半導体供給不足による受託開発案件一部停滞
- ✓コンサルティング伸長

2回の業績予想上方修正

- ✓マーケット需要に適合したサービスの提供と立ち上げ
- ✓フォーカスしたパートナービジネス、デジタルマーケティングの成果

飛躍的成長へのチャレンジ

- ✓マーケット需要に適合する競争力のあるサービスの提供
- ✓リカーリング売上に結び付くパートナービジネスとデジタルマーケティングを継続し、お客様へのリーチ、見える化を継続することで持続的成長が可能

BizX 20/40

Reinvent, Focus, Global

For Mid Term Growth

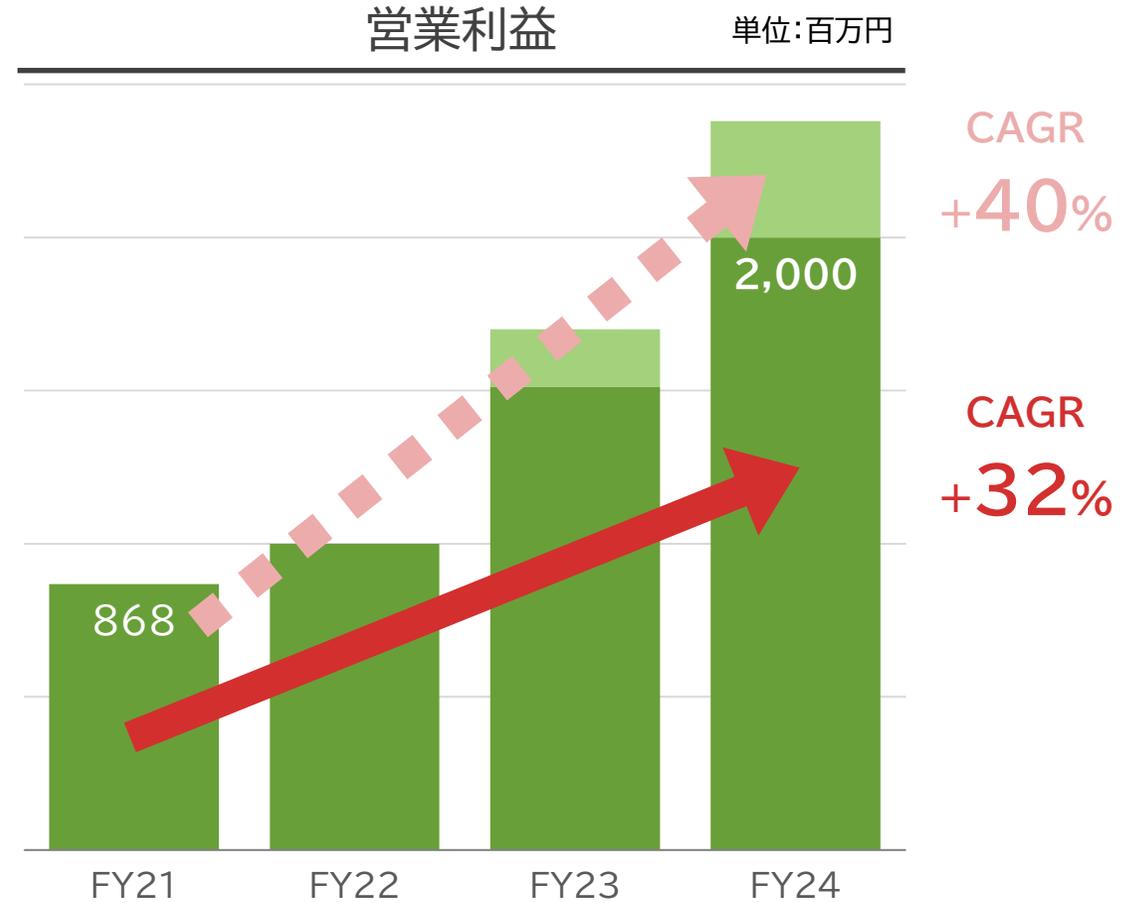
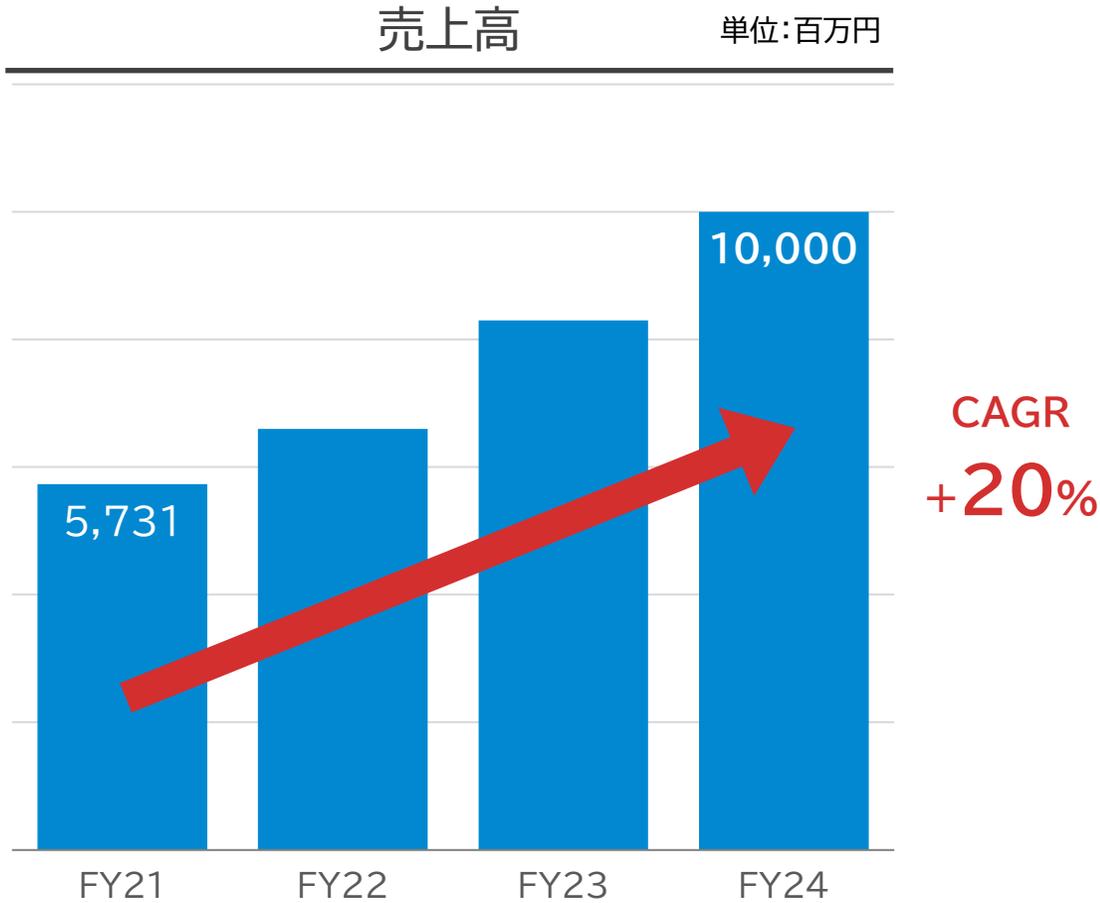
- 成長する組織と人材育成
- 新規市場の立ち上げとフォーカス
- 将来に向けた研究開発
- グローバル展開

3カ年で目指す姿

売上高CAGR 20%

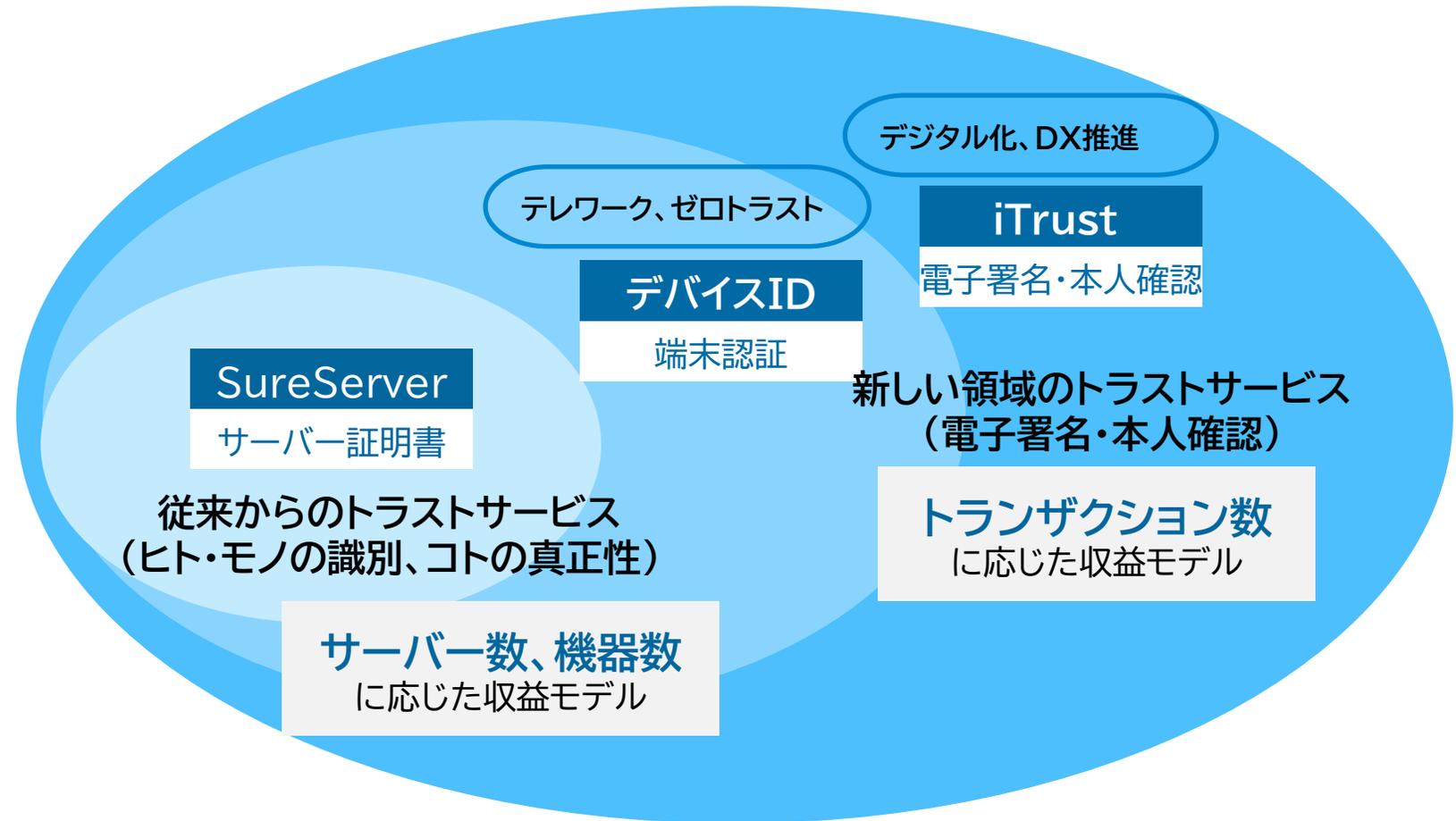
営業利益CAGR 32%~40%

半導体供給などの外部環境の不確実性を鑑みレンジ設定



DXで重要な役割を担う トラストサービスへ領域拡大

認証・セキュリティ サービス



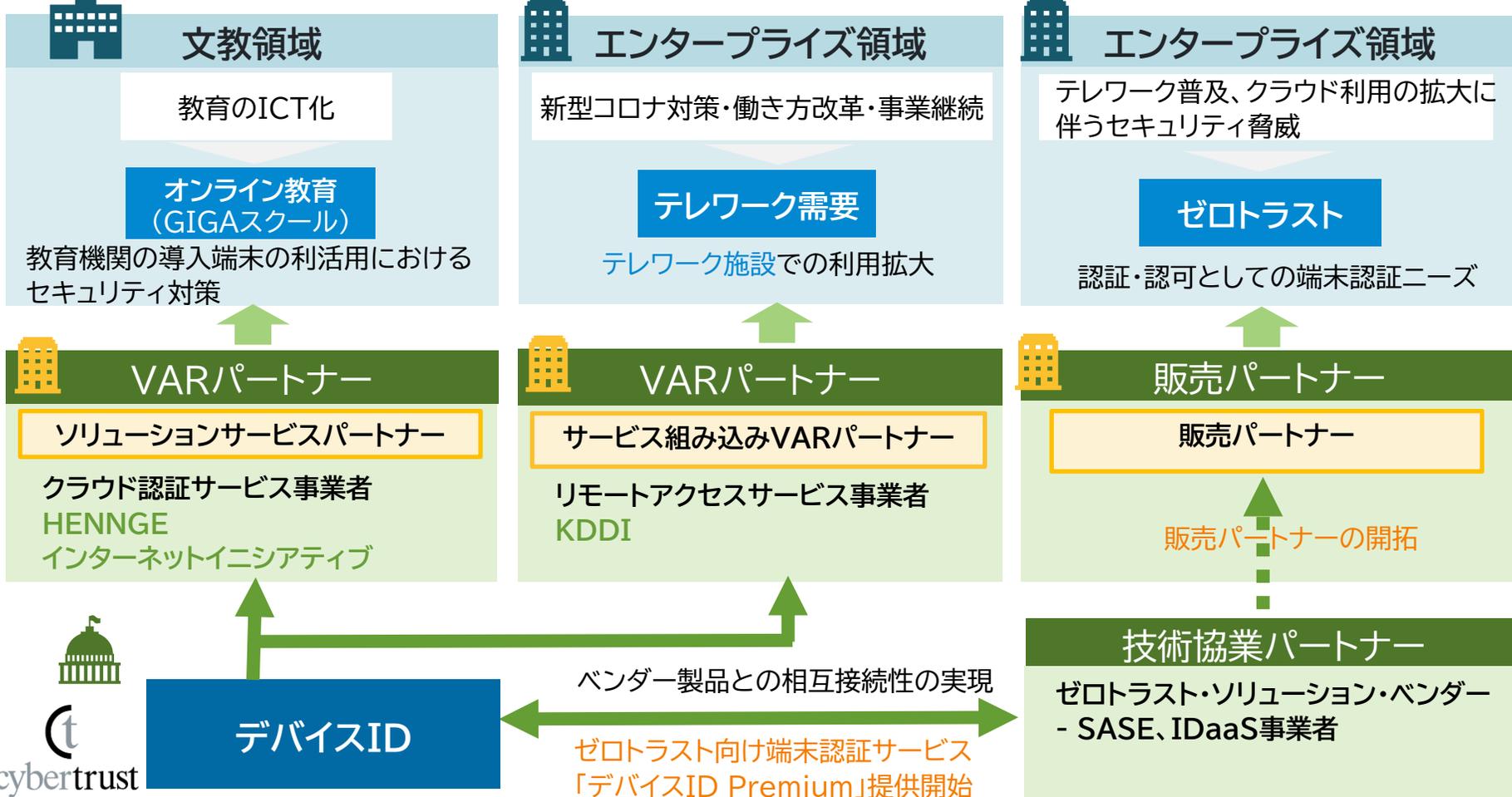
～ゼロトラストセキュリティサービス事業者が主要なVARパートナーのターゲット～

BizX20/40 新規取組

■ゼロトラスト向け端末認証サービス「デバイスID Premium」を提供開始

ゼロトラスト・ソリューション・ベンダーとの協業を構築、強化

■デバイスIDと相互接続したゼロトラスト・ソリューション・ベンダー製品の販売パートナーを開拓



テレワーク需要、ゼロトラストで必要な端末認証サービスをVARパートナーを通じて提供

～電子契約、マイナンバーカードを用いたeKYC(電子的本人確認)が主要なVARパートナーのターゲット～

**BizX20/40
新規取組**

■重要事項説明書・不動産関連契約電子化
(2022/5)

■電子インボイス制度開始
(2023/10)

■マイナポイント第2弾(2022/6)やマイナンバーカードスマホ搭載(2023)によるマイナンバーカード取得率の向上

継続的顧客管理など本人確認サービスの取組み領域をVARパートナーとともに拡大

VARパートナーのDX関連サービス領域

脱ハンコ/ペーパーレス化により
電子契約利用範囲が拡大

マイナンバーカード取得率向上
に伴い電子的本人確認増加

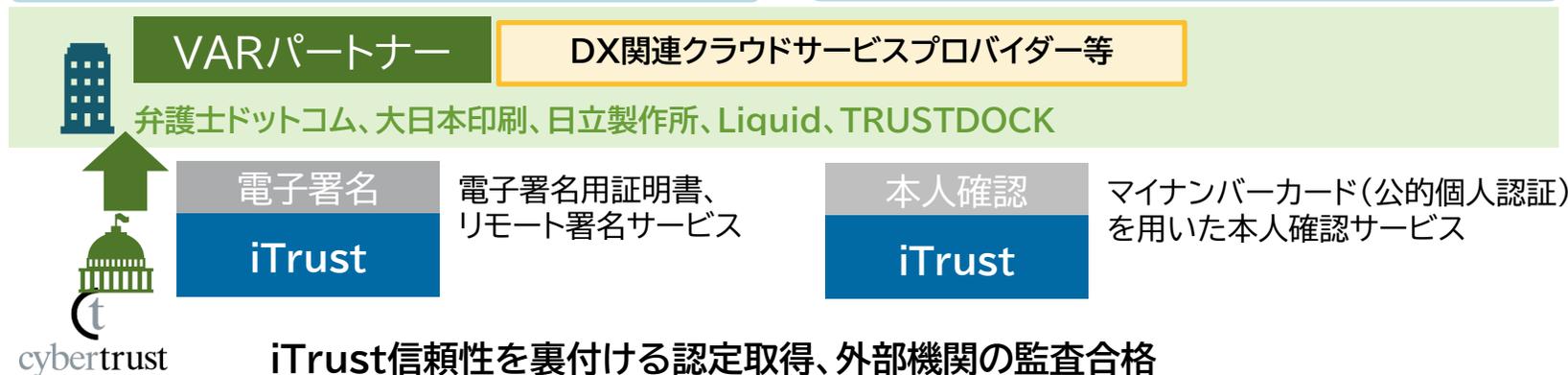
電子契約
(不動産、金融、エンタープライズ)

口座開設(銀行口座、証券口座等)

スマート決済(QRコード決済など)

電子インボイス

継続的顧客管理(保険などの現況確認)



- ・主務大臣認定公的個人認証プラットフォーム事業者
- ・WebTrust for CA

- ・Adobe Approved Trust List Program
- ・JIPDEC トラステッドサービス(リモート署名/電子契約)

デジタル化、DX推進に必要な「本人確認」「電子署名」をパートナーに提供

LinuxOSが社会情報基盤として浸透

Linux / OSS サービス

クラウドとLinuxOSによるオンプレミス
ハイブリッド利用環境が浸透

技術的好奇心による利用

黎明期

安心を前提とした利用

社会基盤

- サーバOSとしてクラウドとのハイブリッドを志向する多くの企業、団体からのニーズに対応

サイバートラストのOSS

国内唯一のLinuxディストリビューター

長期間安心して利用できる付加価値の提供

セキュリティ対応ニーズへの適応



RHEL※互換の国産自社OS
(無償ライセンス)



サーバーシステム監視自社製品
(脆弱性管理を一括サポート)

長期サポートによる安心とセキュリティの強みで
Linux / OSSサービスを伸ばしていく

※ Red Hat Enterprise Linuxの略。Red Hat社によって開発、販売されている業務向けの有償Linuxディストリビューション。

～ライセンス無償化から約半年で4.5万のダウンロード / 市場ニーズを再確認～

BizX20/40 新規取組

■CentOSを利用する国内最大手SNS事業者、大手通販会社等にアプローチ、採用決定

■OSSコミュニティとの関係性を強化
■国内外ベンダーとのアライアンスを強化

■ブランド、技術力認知度を向上させ更なるビジネスを展開



顧客企業

CentOS8の後継OSのニーズ

通信キャリア

データセンター事業者

サービス事業者

その他大手企業



パートナー企業：顧客向けサービス提供

さくらインターネット
ブロードバンドタワー
GMOインターネット
などと新たに協業開始



累計4.5万ダウンロード

- 脆弱性に対応したパッチを継続的にリリース
- 10年を超える長期サポート
- CentOSと同様の機能(RHELクローン)

有償サポート拡大のため、CentOS後継OSとしての認知度向上、信頼の獲得が重要

認知度向上、信頼獲得の施策

- ① データセンター等のパートナー企業と連携した無償配布強化
 - ・パートナー提携強化等により提供機会を増加
- ② コミュニティ活動強化
 - ・MIRACLE LINUXユーザーへの技術情報の提供やユーザー会とのMeetupイベント等による情報発信
 - ・海外OSSコミュニティとの関係性強化
- ③ 海外アライアンス強化

**BizX20/40
新規取組**

■脆弱性管理機能を有するサーバー監視ソリューションの提供で、サイバーセキュリティ監視ニーズへの迅速な対応

■運用自動化機能など、サーバー監視ソリューションとしての進化に向けた

■パートナー協業で実現



MIRACLE LINUX 4.5万ダウンロード

クラウド化が叫ばれるが企業はクラウドとオンプレミスの**ハイブリッド**でサーバ構成を考えていることの証左

これまでOSと監視ソリューションは個別に提案・提供していた

今後はハイブリッドを志向する顧客に統合システム管理ソリューションを積極展開

経済安全保障上、機器のサプライチェーンは「数」 の確保から、真正性を保障する「質」の確保に

経済安全保障対策を背景に、半導体の供給安定に加えて、国際安全基準レベルのIoTセキュリティが重要インフラ14分野、国際競争力のある産業機器、自動車などの事業者に対して求められる

➡ セキュアエレメントが実装された半導体を活用した、安全で「質」の高いIoT機器の促進へ

セキュアなIoTソリューションを提供し、
FY24にリカーリング比率30%を目指す

国際安全基準、経済安全保障関連法の規制対応に関するセキュリティコンサルに軸足

➡ 実装に向けた受託開発/ソリューション提案を通じ、EMLinux、SIOTP販売(リカーリング)に展開

サプライチェーンの「質」の確保に適合する
EMLinux、SIOTPを提供していく

IoTサービス

国際安全基準への適合 量の確保から質への議論の高まり

**BizX20/40
新規取組**

■ 国際安全基準の実装にかかわるセキュリティコンサル
自動車、重要インフラ向け制御機器事業者へアプローチ

■ セキュリティコンサル案件からリカーリングサービスへの移行
自動車、産業機器向けソリューション提案

パートナー協業で積極展開



国際安全基準の整備が進行

IoT機器サプライチェーンは「量」の確保から「質」の確保(安全な機器製造)へ
4/25/22
一社)セキュアIoTプラットフォーム協議会提言

IoT機器メーカーから国際安全基準適合性検証のセキュリティコンサル案件増加

セキュリティコンサル案件からリカーリングサービス導入

国際安全基準のセキュリティコンサルからリカーリングサービス導入へ移行

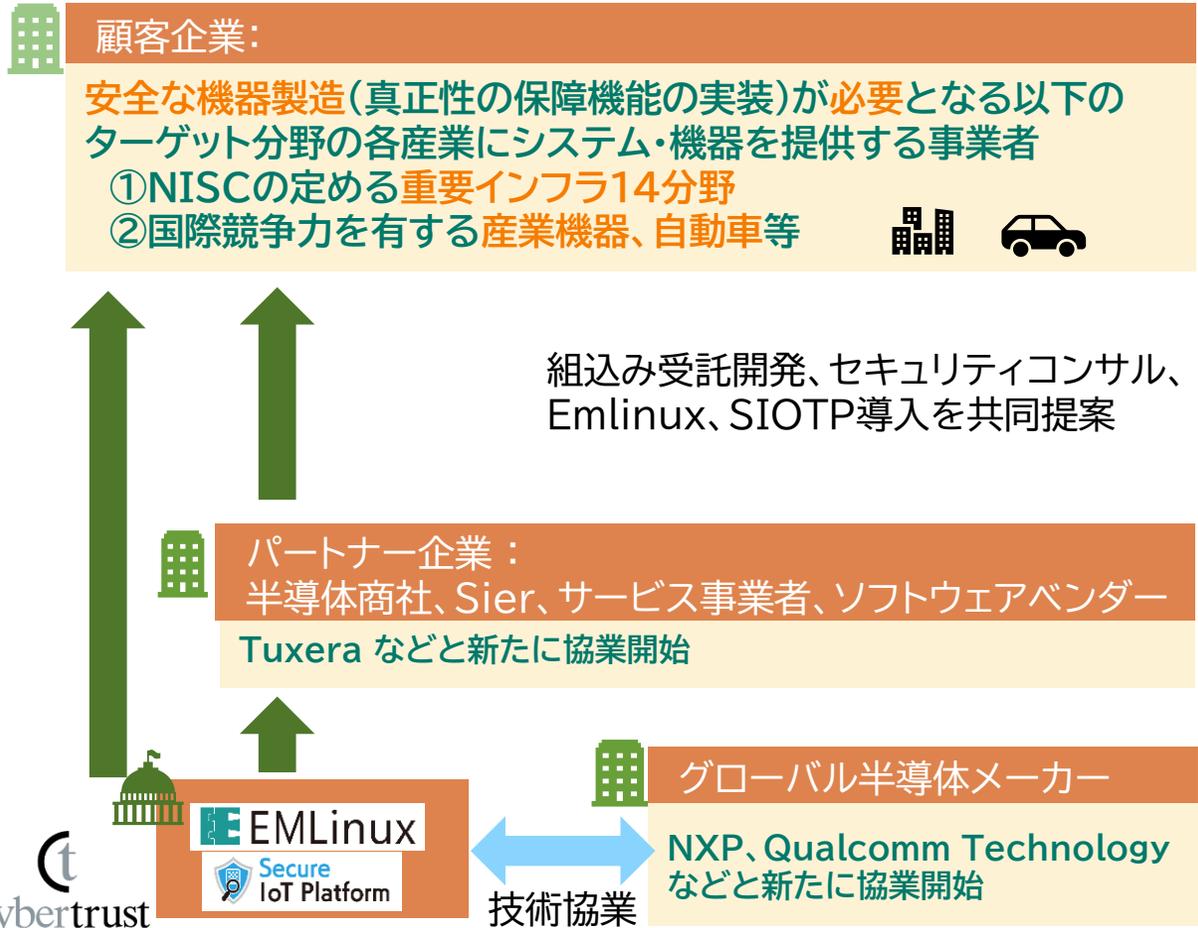
※ OpenSSF(Linux Foundation Open Software Security Forum)、アルファ-オメガプロジェクト:米政府主導のソフトウェアセキュリティに関する議論により設置された、OSSセキュリティの改善を業界主導で進めるプロジェクト)

※※ ZTA: Zero Trust Architecture

IoT機器の製造からサービス提供、運用まで、幅広いパートナーシップでアプローチ



～ NISC※の定める重要インフラ14分野および国際競争力を有する産業機器、自動車等が主要なターゲット～



組込み受託開発

半導体供給の不安定さ継続も、大手グローバル産業機器、自動車関連などの国際競争力のある企業において事業成長を視野に入れた開発投資の回復を見込み案件の獲得に注力

セキュリティコンサル

国際基準の適合性検証からセキュリティ実装に向けた案件の獲得に注力

案件進捗

実装視野に入れたコンサル案件が進行中
(エッジAI向けIoTサービス、次世代自動車、交通関連サービスのセキュリティ対応)

リカーリングサービス

セキュリティコンサル案件からの移行提案に注力

案件進捗

EMLinux

- 産業機器分野の出荷開始でFY22から長期サポート開始
- 車載機器、プリンター、医療機器、ストレージサーバーなど製品化に向けた開発開始

Secure IoT Platform

- スマートビル、医療情報サービスの採用案件の本番運用開始

※内閣サイバーセキュリティセンター

2023年3月期 通期業績予想

2023年3月期 通期業績予想

BizX 20/40に向けて設備投資、研究開発投資、人材育成投資にコストを投じることによりFY22は売上高、営業利益ともに15%台の成長を見込む

(百万円)	FY21	FY22	前期比	
			増減額	増減率
売上高	5,731	6,600	+868	+15.2%
営業利益	868	1,000	+131	+15.1%
経常利益	872	1,000	+127	+14.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	530	670	+139	+26.4%
EBITDA	1,384	1,642	+258	+18.6%



Appendix

サイバートラストが解決する課題と提供価値

デジタルトランスフォーメーション(DX)の時代に必須の
トラストサービスを提供

社会のデジタルシフト

デジタル化における課題

なりすまし
(ヒト・モノ)

不正アクセス
(ヒト・モノ)

盗聴

改ざん



- 国内最長の電子認証局運用実績
- 国内で最も高い組込みLinux技術
- 組込み・IoT技術

真正性

本人性

責任追跡性

実在性

信頼性

完全性

ヒト・コト・モノをつなげる
安心・安全の
新社会基盤

安心・安全なデジタル社会

認証セキュリティとLinux/OSSの技術を組み合わせることにより
DXの課題解決に向けた独自のトラストサービスを提供



デジタル社会の身分証である電子証明書、電子的本人確認・電子署名などのトラストサービスを提供

国内初の商用電子認証局かつ国際的な監査規格に合格した電子認証局の運営実績

当社の提供する、
認証・セキュリティサービス

**現実社会の
証明書**

- 運転免許証
- パスポート
- 印鑑証明書



**デジタル社会の
証明書**

- 電子証明書
- 電子的本人確認や電子署名

サーバー証明書
(SureServer)

ウェブサイトの実在性
 SureServer Prime

デバイス証明書
(デバイスID)

業務利用許可端末の認証

ユーザー証明書

従業員・会員などの認証

iTrustサービス 電子取引の信頼性を担保

- 電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律第17条第1項第6号の規定に基づく主務大臣認定事業者

行政が保証

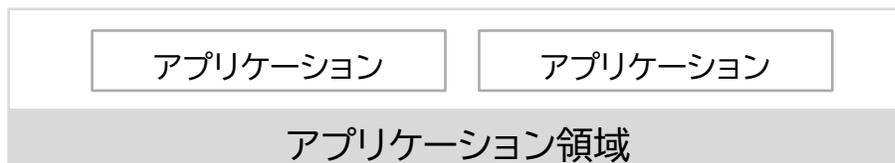
書面や郵送などでの手続き

電子認証局が保証

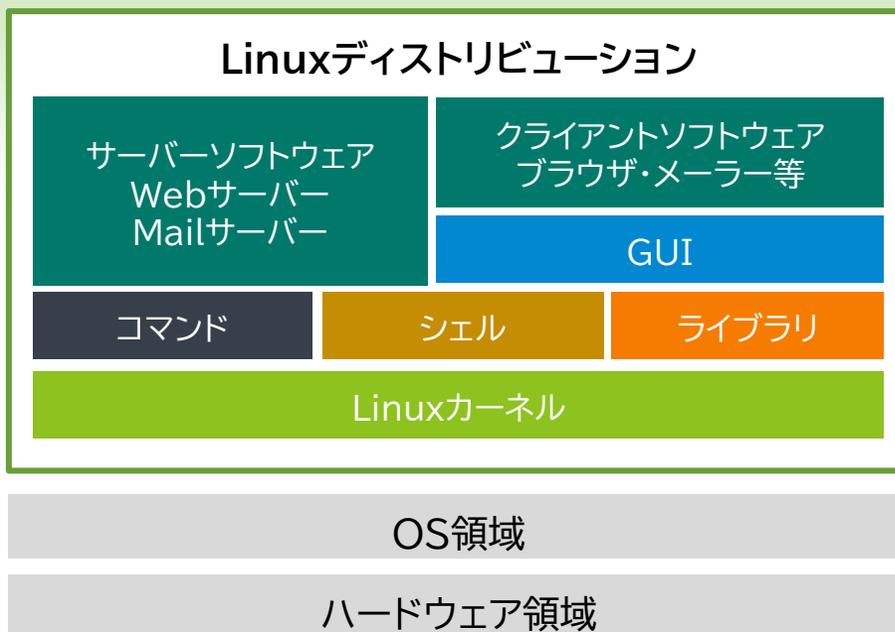
申請者の本人確認・証明書の発行・発行済証明書の管理を行う機関。当社は国内初の商用電子認証局を20年以上に渡り運営。

グローバルOSSコミュニティで活躍するエンジニア集団による 国内唯一のLinux/OSSディストリビューター

一般的なSier



OS上にアプリケーションシステムを構築



Linuxカーネルに必要な機能を組み合わせ
Linuxディストリビューションとして提供・サポート

重要システムで多数の採用実績

航空管制システム、産業機器、通信インフラ、
自動車、電車車両など

10年以上の長期サポートに対応

*OSSコミュニティでのサポートは5~6年で終了

*生産、販売終了から5~9年の製品の補修用性能部品の保有期間に対応

実績の自社製品群

サーバー監視、脆弱性管理、セキュリティ、IoT向けLinux



IoT機器向けLinux OSの提供から、認証、ライフサイクル管理までを提供する技術力

IoT機器をセキュアに動かす
Linux/OSS 技術

自社製品

 EMLinux

- IoT機器に対して脆弱性アップデートを10年間提供(延長可能)

IoT機器の真正性確認をする
認証・セキュリティ 技術

自社サービス

 Secure IoT Platform

セキュアIoTプラットフォーム(SIOTP)

- IoT機器の安全性を担保、真正性を認証し長期のライフサイクル管理を提供
- OTAアップデート、セキュアブートなどクラウド環境で必要なサイバーセキュリティ対策を網羅

IoT機器のライフサイクル管理を実現する
IoT機器/クラウド連携 技術



全ての技術をトータルで提供できる世界でも稀有な会社

IoT機器製造と運用における国際基準に対応 (IEC62443/NIST SP800/FIPS140-3/WP29-ISO21434 など)

会社情報

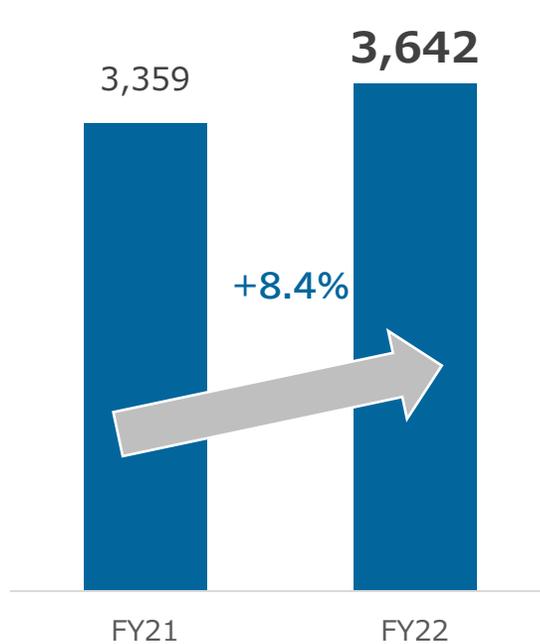
商号	サイバートラスト株式会社 Cybertrust Japan Co., Ltd.
設立	2000年6月1日
役員体制	代表取締役社長 眞柄 泰利 取締役副社長 北村 裕司 取締役副社長 佐野 勝大 取締役 香山 春明 取締役 清水 哲也 社外取締役 築田 稔 社外取締役 広瀬 容子 社外取締役 田島 弓子
資本金 (2022年3月31日 現在)	794,057千円
主な株主 (2021年9月30日 現在)	SBテクノロジー株式会社 日本電気株式会社 株式会社オービックビジネスコンサルタント 株式会社ラック 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 株式会社日立製作所 株式会社サンブリッジ セコム株式会社 大日本印刷株式会社 株式会社大塚商会
事業所	本社(六本木一丁目)、松江ラボ

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 認証サービス事業、セキュリティソリューション事業 ● Linux OS開発、OSSを活用したエンタープライズ向けソフトウェア開発、サポートおよびコンサルティング事業 ● IoT関連事業、組込みLinux関連事業
関係会社	<p><連結子会社></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リネオソリューションズ株式会社 ・Cyber Secure Asia. Pte.Ltd. ・Cybersecure Tech Inc. <p><関連会社></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本RA株式会社 ・Renazon Technology (S) Pte Ltd

2023年3月期 通期業績予想(サービス別売上)

認証・セキュリティ

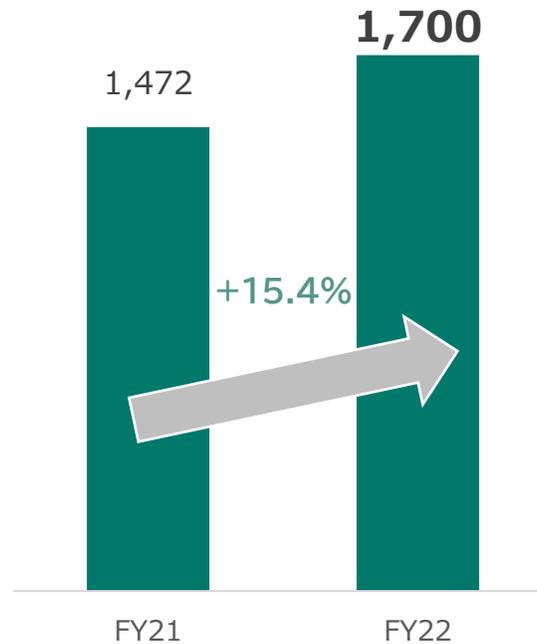
(単位:百万円)



デバイスID、iTrust継続成長

Linux/OSS

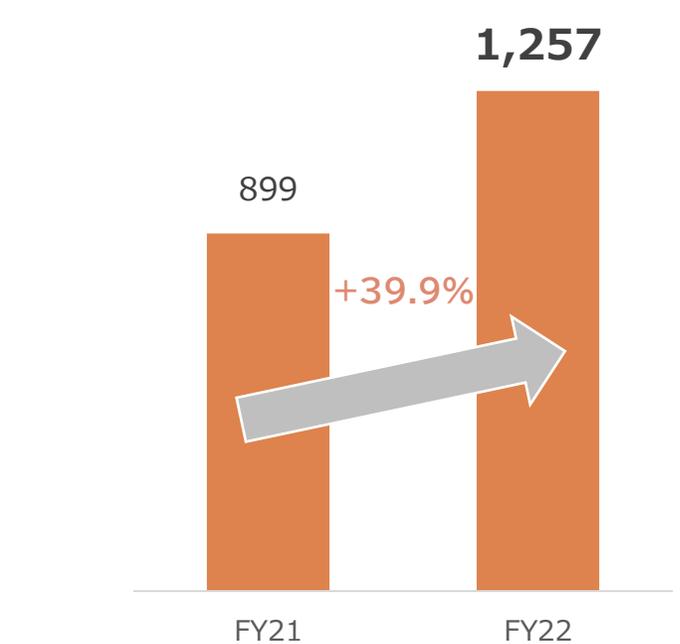
(単位:百万円)



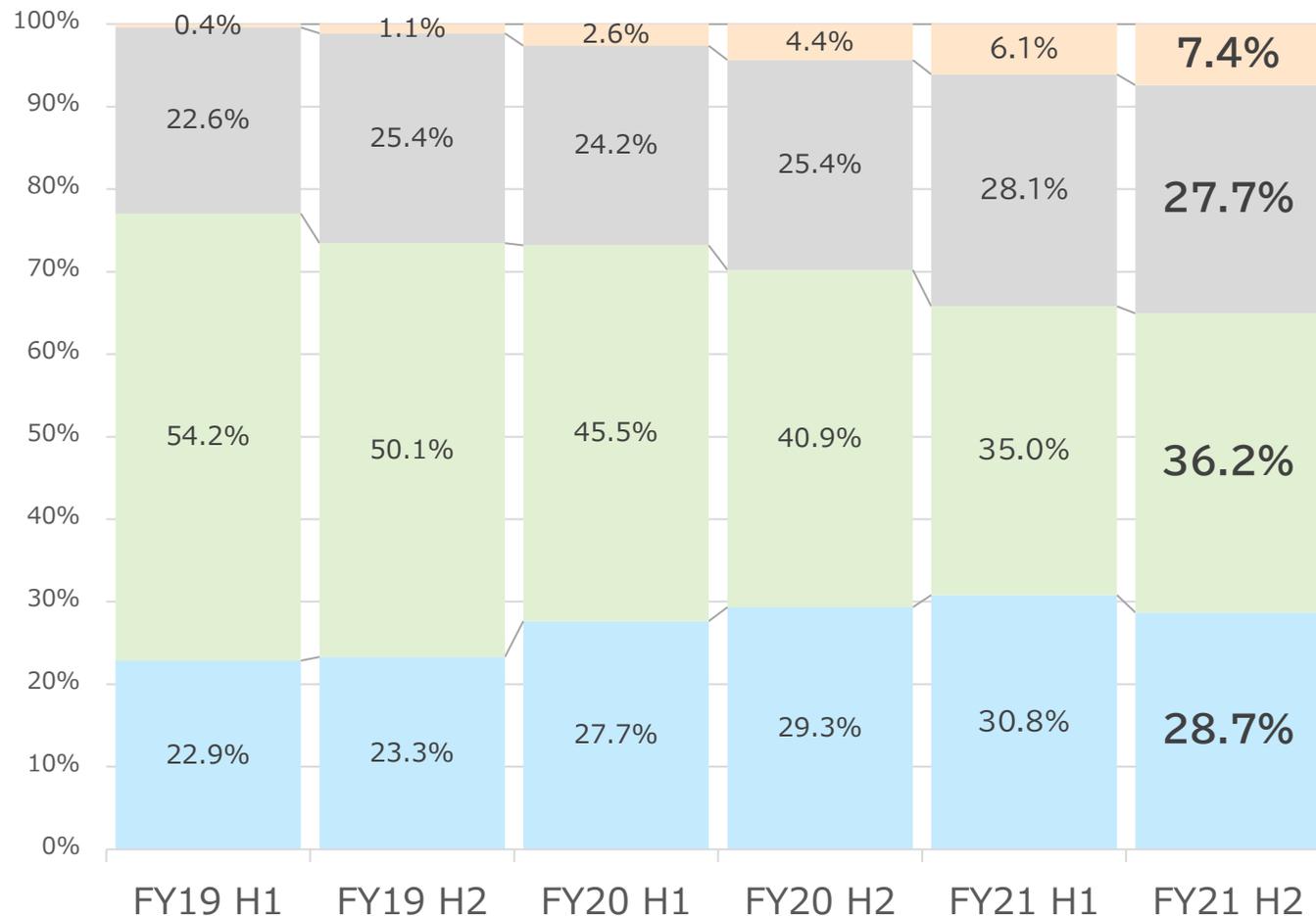
MIRACLE LINUX、MIRACLE ZBX継続成長

IoT

(単位:百万円)



受託開発が一部回復、国際安全基準の整備進行によりセキュリティコンサル、リカーリングサービスが伸長



iTrust
 高成長を継続、認証・セキュリティサービスに占める収益規模も拡大中

その他
 FY21 H1に獲得したマネージドPKI特定大型案件等により規模継続

SureServer
 証明書の有効期間短縮化の影響はFY21 H1で一巡しH2は回復

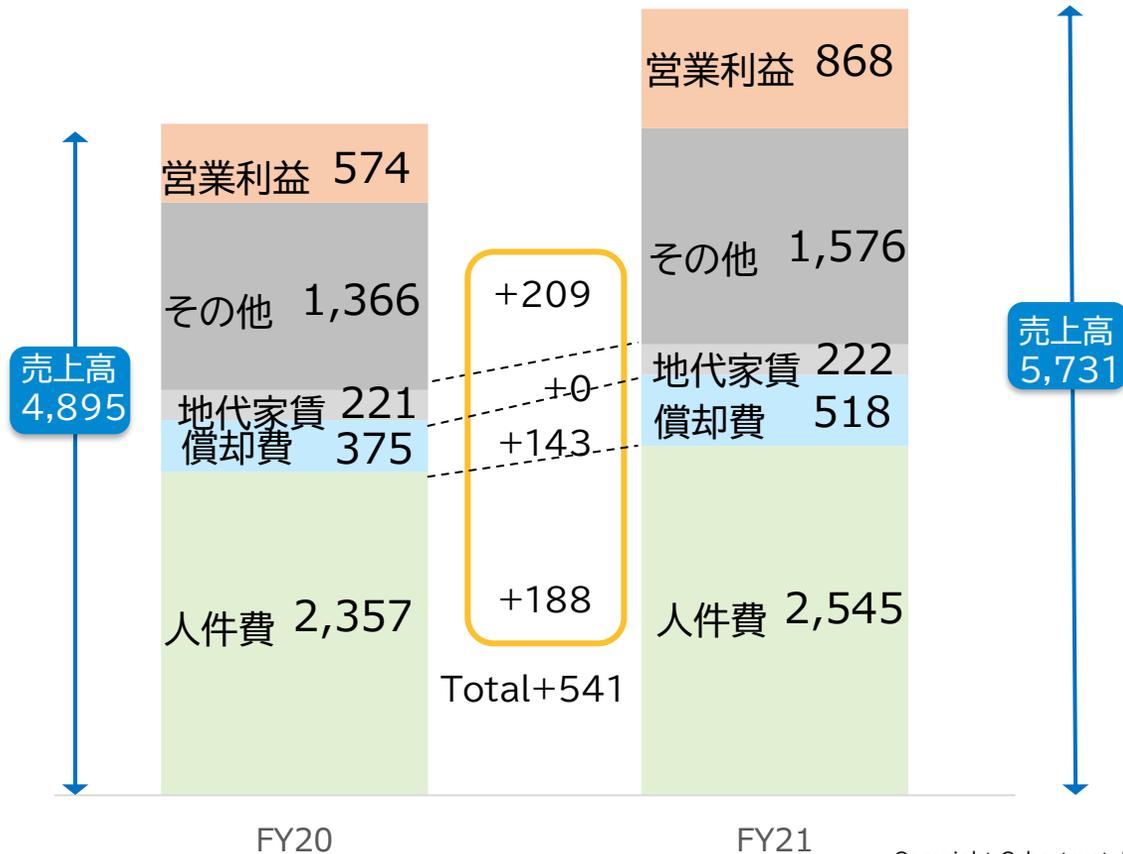
デバイスID
 他プロダクトの伸長度合から相対的な構成比率は低下もFY21 H2も収益規模拡大

サーバー証明書に次ぐ、柱としてデバイスID、iTrustが順調に成長

リカーリングサービスの継続的成長に必要な 設備投資により償却費は増加

費用の推移（連結）

（百万円）



設備投資方針

好調な電子認証サービスの提供能力増強、及び IoTサービスの将来の成長に向けた設備、自社開発ソフトウェアへの投資などを積極的に実施

FY21のコスト構造

前年同期比の主なコスト構造の変化は以下の通り

費用全体 541百万円増

人件費 188百万円増 新卒・中途採用及びリネオソリューションズ連結の影響

償却費 143百万円増 デバイスID、iTrust及びIoTなどの設備投資やソフトウェア開発に関連し増加

連結PL(サービス別売上詳細)

連結業績(百万円)	FY19	FY20	FY21
売上高	4,421	4,895	5,731
認証・セキュリティサービス	2,818	2,925	3,359
ライセンス	251	126	203
プロフェッショナルサービス	480	592	567
リカーリングサービス	2,086	2,205	2,588
Linux/OSSサービス	1,001	1,095	1,472
ライセンス	274	296	334
プロフェッショナルサービス	135	182	164
リカーリングサービス	592	617	973
IoTサービス	600	874	899
ライセンス	117	118	108
プロフェッショナルサービス	475	725	752
リカーリングサービス	8	30	38
売上原価	2,395	2,734	3,167
売上総利益	2,026	2,160	2,563
販売費及び一般管理費	1,488	1,586	1,694
営業利益	537	574	868

連結BS



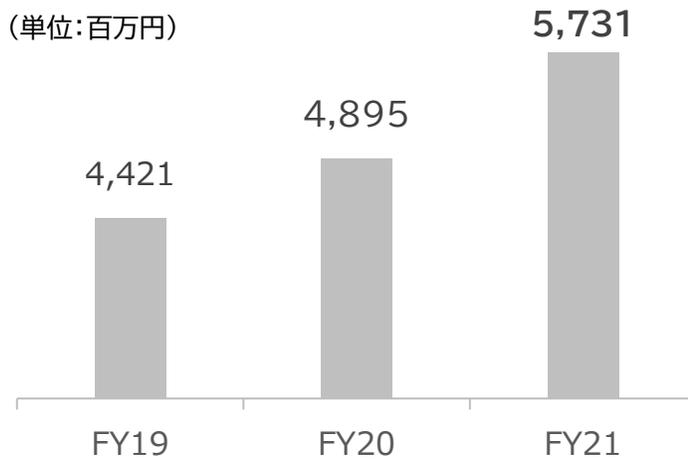
単位:百万円

	2020/3末	2021/3末	2022/3末	前期末比
流動資産	2,822	3,124	4,613	+1,488
現預金	1,913	1,962	3,577	+1,614
受取手形、売掛金 及び契約資産	795	893	861	△32
固定資産	2,083	2,728	2,606	△118
有形固定資産	467	544	531	△13
無形固定資産	1,053	1,735	1,629	△106
投資その他の資産	563	444	445	+1
総資産	4,906	5,851	7,222	+1,370
流動負債	1,112	1,585	1,786	+201
固定負債	349	413	562	+149
純資産	3,444	3,853	4,874	+1,020

主な連結経営指標

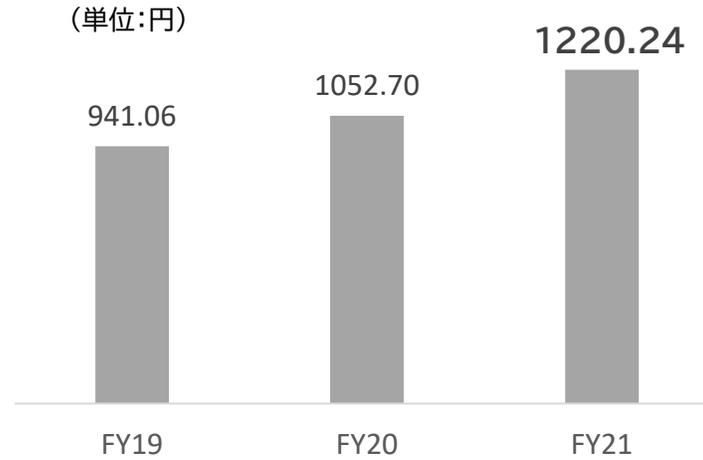
売上高

(単位:百万円)



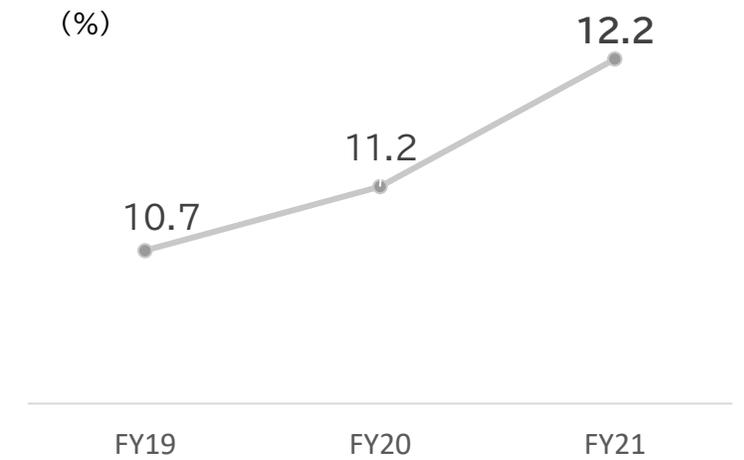
1株当たり純資産(BPS)

(単位:円)



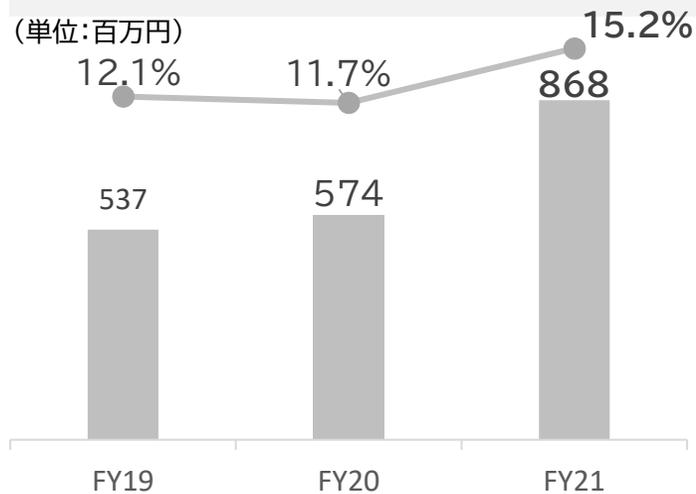
自己資本利益率(ROE)

(%)



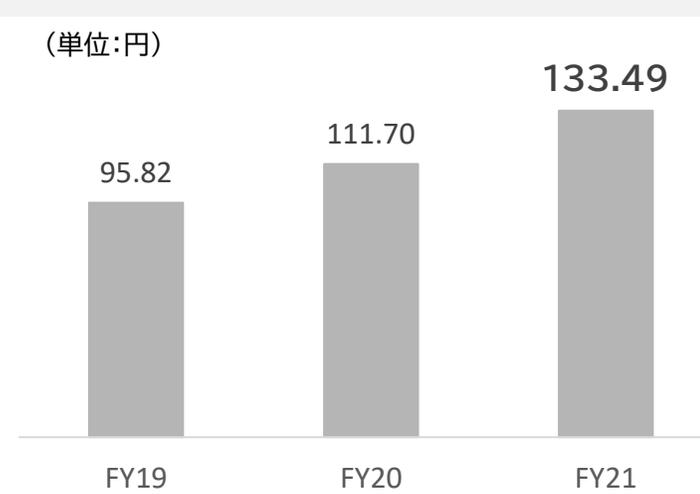
営業利益及び営業利益率

(単位:百万円)



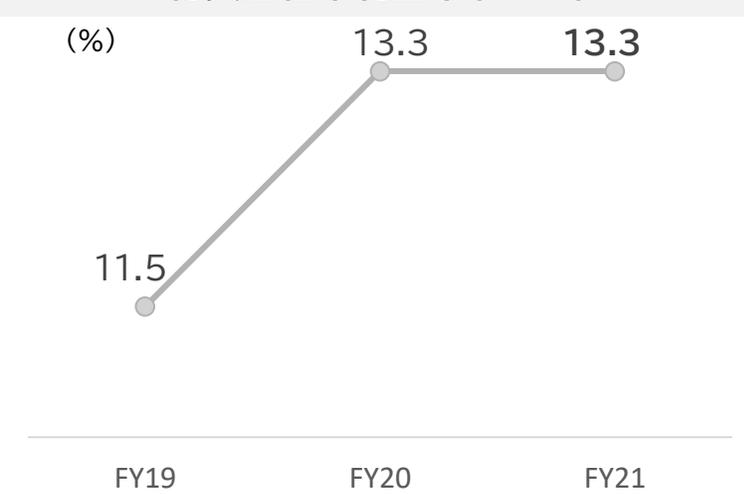
1株当たり当期純利益(EPS)

(単位:円)



総資産経常利益率(ROA)

(%)



用語	説明
電子証明書	「対象を正しく認証・特定するデジタル化された身分証明書」のことで、信頼できる第三者機関としての電子認証局が対象を審査して発行することにより、ヒトやモノなどの正しさを証明するもの
電子認証	ネットワーク上や、複数の利用者があるシステムにおいて、利用者本人であることを電子的に確認し、なりすましの防止や情報の改ざんを防ぐこと
電子認証局	電子証明書の発行や失効などを行う権限を有し、登録局(審査を実施)と発行局(発行や失効などを実施)により構成される
サーバ証明書	ウェブサイトの「運営者の実在性を確認」し、ブラウザとウェブサーバ間で「通信データの暗号化」を行うための電子証明書
EVサーバ証明書	Extended Validationの略称。世界統一の厳格な審査基準に則って発行され、また監査機関により定められた監査に合格した電子認証事業者のみが発行できる、最も信頼性の高いSSL/TLS証明書
クライアント証明書	ユーザのデバイス(PCやスマートフォン等)に証明書をインストールし、そのユーザが正規の利用者であることを認証する電子証明書。大きく「ユーザ証明書」と「デバイス証明書」の2種類となる
デバイス証明書	スマートフォンやタブレットなど、情報端末に発行される。社内ネットワークへのアクセス権を「証明書の入った端末のみ」と制御することで、権限のない情報端末によるアクセスを防ぐ
ユーザー証明書	社員証やシステムログインカードなど、個人を認証するために用いられる

用語	説明
マルチドメイン証明書	異なるドメインを含む FQDN であっても、Subject Alternative Names (SAN) の領域に登録して複数のドメインに利用することができる証明書
ワイルドカード証明書	同一ドメインの異なる複数サブドメインに対して 1 つの証明書で利用可能な証明書
SSL化	Webサイトとそのサイトを閲覧しているユーザとのやり取り(通信)を暗号化すること
FQDN	Fully Qualified Domain Nameの略でDNS(Domain Name System)などのホスト名、ドメイン名(サブドメイン名)などすべてを省略せずに指定した記述形式のこと。通常、一つのFQDNについて複数のサーバーが設定されている。FQDNの例としては、www.cybertrust.co.jp(www=ホスト名、cybertrust.co.jp=ドメイン名)。
組込み	特定用途向けに特化、限定した機能を果たすことを目的とした機器およびシステム。携帯電話やカメラなどの電子機器や家電製品・自動車等
Linux	無償でソースコードが公開され、誰もが利用・複製・改変・再配できるオペレーティングシステム。必要な機能を選択して再構築できることから、サーバーや組込みシステムとして電化製品などの幅広い用途に利用されている
OS	オペレーティングシステムの略称。コンピューターのシステム全体を管理し、種々のアプリケーションソフトに共通する利用環境を提供する基本的なプログラム
OSS (オープンソースソフトウェア)	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードが無償で公開されており、誰でも使用及び改良や再配布ができるソフトウェア

用語	説明
Linuxディストリビューション	Linuxカーネルとその他ソフトウェア群を1つにまとめ、利用者が容易にインストール・利用できるようにしたもの
統合監視ツール	サーバーが正常に稼働しているかどうか、サーバーから稼働情報を取得することで、稼働状況を把握・分析するためのツール
リアルタイム(RT)OS	一般的な汎用OSと違い、リアルタイム性を重視した、組み込みシステムで多く用いられるOS
RHEL	Red Hat Enterprise Linuxの略。Red Hat社によって開発、販売されている業務向けのLinuxディストリビューションのこと。
CentOS	RHELと高い互換性を持つコミュニティベースの無償LinuxOS
OSSコミュニティ	オープンソースソフトウェア(OSS)の開発や改善、情報交換などを主な目的として、利用者、開発者、愛好者らによって構成され非営利目的で運営される団体。世界中に散在するメンバー間でソースコードを共有し、共同開発や関連情報の発信、勉強会の開催などを行っている
VAR	付加価値再販業者。販売するサービスの一部として、デバイスIDを組み込んだり、オプションとして選べるようにして販売するパートナー契約のこと。

製品名対照表

機能	正式製品名	本資料における略称
【認証・セキュリティ】		
SSL/TLSサーバー証明書	SureServer	SureServer
端末認証	サイバートラスト デバイスID	デバイスID
認証局アウトソーシングサービス	サイバートラスト マネージドPKI	マネージドPKI or MPKI
本人確認	iTrust 本人確認サービス	iTrust
電子署名用証明書	iTrust 電子署名用証明書	iTrust
電子署名	iTrust リモート署名サービス	iTrust
【Linux/OSS】		
サーバーOS/クラウド基盤	MIRACLE LINUX	MIRACLE LINUX
統合監視	MIRACLE ZBX	MIRACLE ZBX
【IoT】		
IoT向けLinux	EMLinux	EMLinux
IoTトラストサービス	Secure IoT Platform	SIOTP

製品・サービス紹介ページ一覧

製品・サービス紹介ページ	URL
サイバートラスト株式会社Webサイト	https://www.cybertrust.co.jp/
【認証・セキュリティ】	
SureServerサービス	https://www.cybertrust.co.jp/sureserver/
サイバートラスト デバイスIDサービス	https://www.cybertrust.co.jp/deviceid/
iTrustサービス	https://www.cybertrust.co.jp/itrust/
【Linux/OSS】	
MIRACLE LINUX製品	https://www.cybertrust.co.jp/miracle-linux/
CentOSサポートサービス	https://www.cybertrust.co.jp/centos/
MIRACLE ZBX製品	https://www.cybertrust.co.jp/zabbix/
MIRACLE VulHammer製品	https://www.cybertrust.co.jp/zabbix/vul-hammer/
【IoT】	
EMLinux製品	https://www.cybertrust.co.jp/iot/emlinux.html
セキュア IoT プラットフォームサービス	https://www.cybertrust.co.jp/siotp/index.html

プレスリリース一覧(FY21 Q4)

【認証・セキュリティ】

サイバートラストが端末認証サービス「サイバートラスト デバイス ID Premium」によりゼロトラストソリューション連携を強化

<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0113-device-id-premium.html>

サイバートラストの端末認証サービス「サイバートラスト デバイスID」がラキールの ID 管理基盤と連携

<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0215-lakeel-passport.html>

端末認証サービス「サイバートラスト デバイス ID」、商用版 Web アプリケーションソフトウェア「NGINX Plus」と連携

<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0324-nginx-plus.html>

サイバートラスト、「iTrust 本人確認サービス」に継続的顧客管理と本人確認業務を支援する機能を強化

<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0330-itrust-identification.html>

【Linux/OSS】

ブロードバンドタワーがサイバートラストの「MIRACLE LINUX」とサポートを提供開始

<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0125-c9flex-miraclelinux.html>

脆弱性管理ソリューションの最新版により、企業システムのセキュリティ対策強化を支援

<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0127-mvh.html>

クラウド環境の高可用性を実現するクラスタリングソフトウェアの最新版を提供開始

<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0202-clusterpro.html>

最新のシステム監視ソフトウェア「Zabbix 6.0」のサポートを提供開始

<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0217-zabbix-60.html>

最新の Zabbix 6.0 ベースのシステム監視ソフトウェア「MIRACLE ZBX 6.0」を提供開始

<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0315-miracle-zbx-60.html>

サイバートラストとコンテック、RHEL 8.4 クローンの国産 Linux プリインストールの FA コンピュータ VPC-5000 を新発売

<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0329-contec-miraclelinux.html>

【IoT】

SBテクノロジー、サイバートラスト、Qualcomm Technologies、スマートシティの推進にむけ 5G と IoT ソリューションの開発で協業

<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0119-5g-iot-smartcity.html>

サイバートラストと Tuxera が高信頼性ファイルシステムの販売代理店契約を締結

<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2022/0120-tuxera-file-system.html>

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます
- これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます
- また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社はこれを保証するものではありません
- 本資料に記載されている当社ならびに第三者の商品またはサービスの名称等は、各社の商標または登録商標です。「SureServer」、「iTrust」、「MIRACLE LINUX」及び「MIRACLE ZBX」はサイバートラスト株式会社の登録商標です。



信頼とともに